

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	絵の具スケッチ	4	身近な場所やものを見て、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、よいと感じた印象や思いを絵に表す。	<p>知：身近にある、よいと感じた場所やものを表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技：表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表：動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近にある場所から感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>鑑：動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい、主体的に身近にある、よいと感じた場所やものを、小さな紙に表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
5	糸のこすいすい	6	電動糸のこぎりの使い方を工夫して自由に切り分けたいいろいろな形の板に切込みを入れ、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、組み合わせて立体に表す。	<p>知：電動糸のこぎりをを使って板をいろいろな形に切り、組み合わせて表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技：表現方法に応じて電動糸のこぎりや紙やすりを活用するとともに、板材や水彩絵の具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表：動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、板を切り分けたり、組み合わせたりしながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>鑑：動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい、主体的に電動糸のこぎりをを使って板をいろいろな形に切り、組み合わせて表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
7	光と場所のハーモニー ～暗い場所で～	4	光と場所の特徴を基に、光を使って空間を変化させる方法を思い付き、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫して美しい空間をつくる。	<p>知：光と場所の特徴を生かして、美しい空間をつくるときの感覚や行為を通して、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技：活動に応じてLEDライトなどを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつづけている。</p>	<p>表：奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料や、活動する場所の空間の特徴などを基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>鑑：奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちのつくりだした空間の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい、主体的に光と場所の特徴を生かして、美しい空間をつくる学習活動に取り組もうとしている。</p>
9	まだ見ぬ世界	6	心に留まる写真から、まだ見たこともない世界の様子を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	<p>知：写真から想像を広げて、絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技：表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、描画材についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表：動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、写真から感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>鑑：動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい、主体的に写真から想像を広げて、絵に表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
10	言葉から想像を広げて(読書感想画)	8	詩や短歌、物語などを味わい、その言葉からにじみ出る雰囲気や感じ取った思いが伝わるように、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、画面の構成を考え、表現方法を工夫して絵に表す。	<p>知：詩や短歌、物語などを読んで想像したことを絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技：表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともにクレヨン・パス、色鉛筆、コンテ・パステルなどについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表：動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、詩や短歌、物語などから感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>鑑：動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい、主体的に詩や短歌、物語などを読んで想像したことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
11	立ち上がれ！ワイヤーアート	6	針金を曲げたり立たせ方を工夫したりして形を変えながら、形などの造形的な特徴を捉えて立体に表す。	<p>知：針金に触れて形を変えながら、立ち上がる面白い形を見付けて立体に表すときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。</p> <p>技：表現方法に応じてペンチ、針金を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表：動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、針金の形を変えながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>鑑：動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい、主体的に針金に触れて形を変えながら、立ち上がる面白い形を見付けて立体に表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
12	ほり進めて刷り重ねて	10	彫ったり刷ったりしながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、表し方を工夫して彫り進み木版に表す。	<p>知：彫ったり刷ったりしながら、形や色の重なりを確かめて、版に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技：表現方法に応じて彫刻刀、版画の用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表：動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、生活の中で感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>鑑：動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい、主体的に彫ったり刷ったりしながら、形や色の重なりを確かめて、版に表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
1 2	ミラクル！ミラー ステージ	8	鏡のもつ面白さや不思議さを生かして、映り方や見え方を試しながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、材料の組合せ方を工夫して立体に表す。	<p>知：鏡の面白さ、不思議さを生かし、材料を組み合わせるときの感覚や行為を通して、奥行き、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技：表現方法に応じてミラーシートなどを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表：奥行き、動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、ミラーシートに形を映して感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>鑑：奥行き、動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい、主体的に鏡の面白さ、不思議さを生かし、材料を組み合わせる学習活動に取り組もうとしている。</p>